

県内総合

建設情報

Iwate

汚泥処理基本計画の策定

県北上川上流
下水道事務所

申請期限は15日正午

県北上川上流流域下水道事務所は7日付で、簡易総合評価落札方式の北上川上流流域下水道ほか北上浄化センターほか汚泥処理基本計画策定業務委託を公告した。申請期限は15日正午。入札日時は22日の午前9時から午後5時まで。開札は翌23日を予定している。(関連7面)

同業務は、北上浄化センター、水沢浄化センター、一関浄化センターで実施している「汚泥の共同焼却」について、将来の効率的かつ経済的な手法を定める基本計画

今年度で事業完了へ ＝県一関農林振興センター＝ 産女川地区の復旧治山

県南広域振興局農政部一関農林振興センターは、一関市の産女川地区での復旧治山事業について、今年度での事業完了に向けて施工を実施している。地すべりが多発している箇所で、堰堤が整備されているが老朽化している状況から、保全に向けて堰堤の新設や既存堰堤の補修を進めてきた。

同地区は、過去にも地すべりが多発し、大規模な地すべりも繰り返してきている。林野庁の直轄地すべり防止事業により復旧が行われてきている。近年では、08年の岩手・宮城内陸地震により発生した地すべりによる流出土砂は著しい量だったが、過去に整備した治山施設によって、被害の軽減が図られた。

ただ、1968年以前に施工され、既に県に引き渡された施設の老朽化が著しく、損壊した場合は下流の厳美地区に土砂流出等多大な影響を及ぼすため、施設の補修等を行い、地域の保全を図る必要がある。国道342号をはじめ、産女川下流域の人家、農地等の保全に向けて整備する。

事業計画は、溪間工4基、山腹工0.09%。17年度から21年度までの5力年で事業を進めており、総事業費が約5億1000万円となっている。

溪間工のうち2基は、堰堤の新設となる。整備する堰堤の概要を見ると、それぞれ堤長55.5m、高

を作成するもの。

施行地は、北上市相去町岩の目地内ほか。

3施設とも処理方式は標準活性汚泥法。処理能力は、北上浄化センターが4万8010立方m/日最大(20年度末)。全体計画、事業計画とも処理能力は同じく4万8010立方m/日最大。水沢浄化センターは2万2700立方m/日最大(同)。全体計画は3万3200立方m/日最大、事業計画は2万9700立方m/日最大。一関浄化センターは1万3400立方m/日最大(同)。全体計

さ7.0m、堤体積1339.8立方mと、堤長32.3m、高さ9.0m、堤体積817.9立方mの規模となっている。いずれも既存堰堤の下流に設けることとしている。

補修を実施する堰堤については、1基がグラウトの注入による補修。他の1基は、大型かこ工と基礎洗堀箇所の根継工により補修を行った。

現在は、堤体積817.9平方mの堰堤の新設工事が進められている。この工事の完了により、事業完了となる見通しだ。

甲子川水系など整備 方針検討は日本工営

＝県土整備部＝

県土整備部建設技術振興課は、簡易総合評価落札方式で実施の「二級河川甲子川水系ほか河川整備基本方針検討業務委託」を入札した結果、同業務は日本工営が2100万円で落札した。(関連7面)

この業務は、二級河川甲子川水系などについて、河川法に基づく河川整備基本方針の策定または変更に係る検討を実施し、関係機関との協議資料作成を行うもの。既往検討資料を踏まえながら、河川整備基本方針の原案や参考資料などを作成する。

業務内容は河川整備基本方針検討2水系で、業務対象となる水系は、釜石市の甲子川(新規)と宮古市の閉伊川(変更)。履行期間は22年3月18日までの予定。

今回の業務では、津波対策諸元資料や洪水対策諸元資料、既存図

ニュースの
お知らせは

〒020-0015 盛岡市本町通3-9-33
本社編集部へ
TEL (019) 623-8201
FAX (019) 623-8204

画は2万1200立方m/日最大、事業計画は1万7300立方m/日最大となっている。

業務内容は、基本作業の確認、各浄化センターの現状評価・課題の分析など基本事項の検討、汚泥処理の見直し方針の決定、改築計画の策定、実施計画の策定、提出図書の作成。このうち、改築計画の策定では老朽化やリスク対応の評価に基づく改築更新の検討、実施計画の策定ではPPP/PMI手法選択検討導入を視野に年度別建設計画を策定する。

履行期限は、22年3月18日まで。入札参加資格には、土木関係建設コンサルタントに登録され、資格申請において下水道業務を申請業務としている者で、岩手県内に本店または営業所を有すること、などを付している。

面、過去の浸水実績資料などを収集・整理し、現地踏査を実施。河川整備基本方針および参考資料、関係機関協議資料を作成する。

甲子川においては、治水安全度の検討や降雨解析、治水方式の検討、計画高水流量の検討などを実施する計画。閉伊川に関しては、降雨解析や既得水利権などの現状・課題の整理などを行う。

富岡エンジニアが 3橋の補修設計を

＝県宮古審査指導監＝

県沿岸広域振興局宮古審査指導監は、総合評価落札方式の「一般国道340号ほか谷内橋ほか2橋橋梁補修設計業務委託」を入札した結果、富岡エンジニアリングが893万3500円で落札した。委託期間は、22年3月20日までの予定としている。(関連7面)

同業務は、県で実施した橋梁点検結果等を基に橋梁の劣化状況や損傷状況を把握し、それに対応した対策工法を検討した上で橋梁補修設計を行うもの。

対象橋梁は▽一般国道340号谷内橋(場所：宮古市和井内内地、橋梁形式：RCT桁橋、橋長6.4m、1963年架設)▽一般県道川内停車場線川内橋(場所：宮古市川内内地、橋梁形式：RCT橋、橋長58.9m、1954年架設)▽一般県道有芸田老線馬場野橋(場所：宮古市田老八幡水神地内、橋梁形式：RCT橋、橋長26.0m、1980年架設)－3橋となっている。

業務内容は、計画準備、現地踏

査、橋梁詳細調査、橋梁補修設計、施工計画、概算工事費の算出など。このうち、橋梁補修設計では、橋梁詳細調査の結果により、損傷状況に応じた補修方法などを検討の上、補修設計を実施。補修形状などの決定や、補修詳細図、仮設計画図等の作成を行う。

半崎地区臨港道路の 落石対策設計を公告

＝県久慈審査指導監＝

県北広域振興局久慈審査指導監は6日付で、「久慈港半崎地区臨港道路落石対策及び土砂流出対策調査・設計業務委託」を公告した。

いわて防災学教室



令和3年10月7日22時21分に千葉県北西部の深さ75kmでマグニチュード5.9の地震が発生しました。震源の深さが深いように思う方も多くいらっしゃるかもしれませんが、関東のこの地域では時々大きな地震が起る深さです。いまから16年前の2005年7月3日にも、ほぼ同じ場所でほぼ同じマグニチュードの地震が発生しています。ちょうど前日の6日2時46分頃、岩手県沖でマグニチュード5.9の地震が発生し、緊急地震速報が出されたばかりなので、千葉県の地震のニュースに注目した方は多かったでしょう。

この地震では埼玉県川口市、宮代町、および東京都足立区で震度5強を観測したほか、東北地方から近畿地方にかけて震度5弱から震度1を観測しました。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生しました(気象庁による)。この地震により、重傷者6人、軽傷者48人などの被害が生じました。足立区の日暮里・舎人ライナーで緊急停止した車両が脱輪し、軽傷3人の被害が生じています。(11月26日時点、総務省消防庁による)。報道によると、当日は電車等が不通となり、多数の住民の帰宅に支障がでました。

気象庁のホームページで震度データベースを検索すると千葉県北西部の地震の震度分布を確認することができます。震源に近い千葉中央区では震度5弱を観測していますが、その周辺では震度4を観測した場所が多く存在します。一方、震度5強を観測した東京都足立区や川口市周辺では震度5弱を観測した場所が多く存在します。一般的に、地震の震度は震源に近い場所で震度が大きく、震源から遠くなるに従って震度が小さくなるのが標準です。なぜ、震源に近い千葉市の周辺部で多く震度4を観測されたのでしょうか。この原因は地盤の揺れやすさの違いによるものです。地震時の揺れは表層地盤の影響を強く受けます。地震の震源から同じ程度の距離でも地盤増幅率の違いにより震度(揺れの大きさ)

同業務は、簡易総合評価落札方式(簡易2型)の対象案件となっている。入札参加申請書の提出期限は14日正午で、入札は21日を予定している。

同業務は、久慈港半崎地区の臨港道路において法面からの落石対策、沢からの土砂流出(暫定)対策について、必要な測量や設計を行うもの。

業務対象地域は久慈市半崎地内で、履行期間は22年3月15日までとなっている。

今回の業務では、現地測量や路線測量をはじめ、法面工予備設計、落石防護柵詳細設計、貯砂施設応急対策などを行う。

入札参加資格としては、20・21

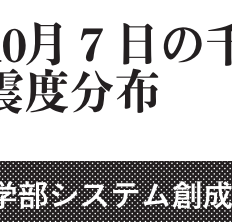
年度建設関連業務競争入札参加資格者名簿の測量業務「地上測量」および土木関係建設コンサルタント業務「道路」に登録されている者で、県北広域振興局(本局)の区域に本店または県内に本店を有した上で営業所を有することなどを設定している。

このほか、擁壁・補強土設計および路線測量を元請けとして受注した実績も求めている。

けんせつ女子大募集!

「スマイル☆けんせつ女子部」に登場していただける方を募集しています。年齢や経験年数などは問いません。詳しくは編集部まで。→TEL 019-623-8201(代表)

いわて防災学教室



「地震ハザードステーション」は、全国の地震動確率を閲覧可能なホームページです。地震動確率の地域による違いが色で示されています。この違いの大きな要因は地盤増幅率によるものです。ホームページの上部にある「表層地盤」と書かれたタブをクリックすると全国の地盤増幅率が色分けされています。赤色が濃いほど地盤増幅率が高く、黄色で標準的な値、青色で増幅率が低いことを示しています。関東平野などは全域的に増幅率が高く、揺れやすい地盤であることが予想できます。その中でも利根川、江戸川、荒川などの大きい河川の流域では増幅率が濃い赤色を示していることがわかります。これらの地域では増幅率が少なくとも2倍以上を示しています。地盤増幅率は平野部で高いだけでなく、そのなかでも大河川流域ではより高い値を示すことがわかります。言い換えれば、地震時に大きな揺れとなり、被害が発生しやすい地域であると言えるでしょう。

この増幅率は、関東地方以外に「微地形区分」から簡易的に算定されています。本来、正確に増幅率を算定するには地盤の地下構造を知る必要があります。2021年3月に更新された最新の結果では、関東地方のみ地下構造探査に基づいた増幅率が算定されました。他地域に比べ予測の精度は高いと考えられますので、上述の震度の大きな場所と増幅率の高い場所関係が明らかになりました。しかし、東北のような関東以外の地域では、探査による精度の高い増幅率が利用できるにはまだまだ時間がかかりそうです。

参考URLアドレス：
気象庁震度データベース検索：<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.html>
地震ハザードステーション：<https://www.j-shis.bosai.go.jp>

※いわて防災学教室のバックナンバーは、岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。



防音パネル

ねこの手。

お役に立ちます!

解体、改修などの工事現場に 簡単設置「囲い」「防音壁」で騒音カット!



有限会社 ダイユウ機販明広

〒028-3611 岩手県紫波郡矢町大字赤林第5地割62番地
TEL 019-697-1057 / FAX 019-697-1058
E-mail. takahashi@daiyuu.info
<http://www.daiyuu.info>

がんばろう岩手 復興を応援します



リース・レンタル・販売・買取

東亜リース株式会社

お近くの営業所まで連絡ください!!

宮古営業所 高田営業所 釜石営業所 岩泉営業所 本社	宮古市高浜4丁目44-1 陸前高田市気仙町字木場106 釜石市片岸町3地割16-2 下閉伊郡岩泉町乙茂字上94-1	0193-77-3357 0192-47-3572 0193-55-5381 0194-32-3030	大船渡営業所 山田営業所 久慈営業所	大船渡市大船渡町字中港3-6 下閉伊郡山田町大沢第2地割6-2 久慈市侍浜町北野第10地割226-6	0192-47-4838 0193-77-4041 0194-66-7700
水沢営業所 北上営業所 花巻営業所	0197-23-6222 0197-67-2131 0198-26-2223	盛岡営業所 盛岡北営業所 二戸営業所	019-637-8200 019-694-3070 0195-26-8515	遠野営業所 一関営業所 千厩営業所	0198-62-7273 0191-46-3222 0191-53-3222

—— 地域と共に歩み続ける 遠忠グループ ——

総合建設業

株式会社 遠忠

八幡平市大更24-8-1-5
TEL 0195-76-2126
FAX 0195-75-0680
URL : www.enchu.com

ISO9001:2008認証企業
《供給する製品、プロセスまたはサービス》
建築物の設計、工事監理及び施工
土木構造物の施工(7.3設計・開発を除く)

【営業品目】
土木工事一式
建築工事一式
舗装工事
解体工事
砂利採取販売
山砕石製造販売
珪石・珪砂製造販売
生コン製造販売
各種自動車整備
宅地建物取引業
産業廃棄物収集運搬業
一般貨物自動車運送業

遠忠石油株式会社

八幡平市大更24-8-1
TEL 0195-75-1343
FAX 0195-75-1624
各種燃料油の販売・配達
配達地区：八幡平市 岩手町 盛岡市 滝沢市
自動車用品等の販売
バイオディーゼルの精製

産業廃棄物中間処理業 タダテックス有限会社

八幡平市大更24-9-1
TEL 0195-70-1611
FAX 0195-70-0680
タダテックスリサイクルセンター
八幡平市田頭1-10-1
TEL・FAX 0195-75-2356

【取扱品目】
・アスファルト廃材
・コンクリートくず
・木くず(解体材・建設廃材・生木・伐根材)
・コンクリート廃材



遠忠馬場鉱山 珪石・珪砂製造販売プラント